

(2月の野菜の見通し)

品目	区分	入荷量(t)			キロ当たり単価(円)			山形県産前年実績		コメント
		前年実績	前年比 見込 (%)	5ヵ年平均	前年実 績	前年比 見込 (%)	5ヵ年平 均	前年入荷 量(t)	前年占有 率(%)	
だいこん		12,120	95	11,762	68	110	83	-	-	神奈川、千葉産中心の入荷で全体の約9割を占める。今年は年明け後、乾燥が続いていることから肥大不良。全体の入荷量は前年を下回り、価格は前年を上回る見込み。
にんじん		6,930	102	6,792	113	75	116	-	-	千葉、埼玉産中心の入荷で全体の約8割を占める。今年は千葉中心に順調で、入荷量は前年をやや上回る見込み。価格は前年を下回る見込み。
はくさい		11,563	100	11,352	62	97	57	-	-	茨城産中心の入荷で全体の6割を占める。2月で出荷の終盤を迎える。全体の入荷量は前年並、価格は前年をやや下回る見込み。
ほうれんそう		1,900	95	2,013	289	121	334	-	-	群馬、埼玉を中心とする関東産が市況をリードする。今年は干ばつ低温で経過したため、入荷は前年を下回り、価格は前年を上回る見込み。
キャベツ類		14,368	95	12,957	88	102	95	-	-	愛知、千葉産中心の入荷で全体の約8割を占める。今年は愛知が台風の影響で数量は少ない。千葉も干ばつで前年より少ない。全体の入荷量は前年を下回り、価格は前年をやや上回る見込み。
ねぎ		4,891	97	4,692	173	133	226	29	0.6	千葉、埼玉産中心の入荷で全体の7割を占める。2月に入り、遅れていた千葉が本格的に出荷される。全体の入荷量は前年をやや下回り、価格は前年を上回る見込み。
レタス類		7,859	95	7,172	174	126	209	-	-	静岡、香川産中心の入荷で約5割を占める。今年は、1月に低温、干ばつで経過したため、生育は小振りである。全体の入荷量は前年を下回り、価格は前年を上回る見込み。

(2月の野菜の見通し)

品目	区分	入荷量(t)			キロ当たり単価(円)			山形県産前年実績		コメント
		前年実績	前年比 見込 (%)	5ヵ年平均	前年実績	前年比 見込 (%)	5ヵ年平均	前年入荷 量(t)	前年占有 率(%)	
きゅうり		4,955	100	4,866	350	100	376	-	-	千葉を中心とする関東産と高知などの暖地が市況をリードする。今年は晴天が続いていることから、数量は確保されている。全体の入荷量、価格とも前年並の見込み。
なす		1,628	95	1,632	383	111	417	-	-	高知、福岡産中心の入荷で全体の約8割を占める。今年は長なすが不足しているため、全体の入荷量は前年を下回り、価格は前年並を上回る見込み。
トマト		4,954	100	4,915	359	100	352	-	-	愛知、熊本の暖産が市況をリードする。12月の天候不順の影響が懸念されるが、全体の入荷量、価格とも前年並の見込み。
ピーマン		1,155	100	1,207	733	102	746	-	-	宮崎、高知産、茨城産中心で全体の約9割を占める。年末から好天で推移したことから生育は順調。全体の入荷量は前年並、価格は前年をやや上回る見込み。
ばれいしょ		7,982	95	8,024	108	130	110	-	-	北海道、鹿児島産中心の入荷で全体の9割を占める。北海道産の貯蔵ばれいしょは引き続き小玉が多く出荷量も増えない。九州産の新じゃがいもは大玉傾向。全体の入荷量は前年を下回り、価格は前年を上回る見込み。
たまねぎ		9,457	90	9,213	87	138	98	-	-	北海道中心の入荷で全体の約9割を占める。北海道産は不作で貯蔵量が少ないために引き続き品薄感が強い。静岡の新たまねぎは平年作。全体の入荷量は前年より少なく、価格は前年を上回る見込み。